

# 未来を育み、地域とつながる 人間との触れ合いを重視する活動

## 武蔵野市と協力し保育所を開設



横河電機本社別館駐車場敷地内に保育所「ポピズナーサリー武蔵野」が開設され、企業が保育をサポートする際のモデルケースとして注目されています。2006年8月25日に開かれたお披露目会では、ご来賓の方からも「市民が育児と仕事を両立するには、行政のサポートだけではなく、今回のような企業側からの協力も重要になるでしょう」とコメントをいただきました。

## 中学校で「ものづくり」と「ひとづくり」の講演



2006年9月7日、武蔵野市の中学校のPTA、学校職員を対象にアドバンスト・ステージ事業部の大出剛が講演を行いました。自動車の生産工場を例にYOKOGAWAの生産管理方式の考え方を分かりやすく解説するほか、これからの日本で技術者が担う重要な役割や、今後技術者に求められるマネジメント能力について、未来の技術者像について情熱を込めて語りました。

## 武蔵野消防署と震災時支援活動の協定を締結



横河電機は武蔵野消防署との間に震災時の支援活動に関する協定を締結し、2006年4月21日に調印式を行いました。震災時の支援活動とは、横河電機が可能な範囲で消防署の消火活動、傷病者の救援などに協力するというものです。YOKOGAWAは今後も震災時の支援体制づくりに協力、地域社会に貢献していきます。

## 「2006横河まつり」本社グラウンドで開催



2006年7月28日、「Go for the Next Stage」をテーマに本社グラウンドで「2006横河まつり」が開催されました。世界各国の料理が味わえる模擬店には、親子連れが長い列を作るなど、盛り上がりを見せました。各事業所でも打ち上げ花火やカラオケトーナメントを行うなど、それぞれの特色を出したまつりを開催、ご来場いただいた地域周辺の方々も楽しまれていました。

## 成蹊大学で「水の制御技術開発」講演



2006年11月15日、ソリューション事業部の森意佐央が、母校成蹊大学大学院で「安全でおいしい水を目指した制御技術の開発」をテーマに特別講義を行いました。これは、工学分野における先端技術や産業動向について、実社会の技術を肌で感じてもらうことを目的とし、自らの企画開発業務などの経験を交えながら進めました。

## 神奈川県と合同で「制御技術セミナー」開催



神奈川県産業技術センターとの合同により、2006年9月から10月にかけて「制御技術セミナー」を開催しました。講師をつとめたのは、技術開発本部計測制御研究所コンサルタントの富田芳生。「PID (Proportional Integral Derivative) 制御を自転車のように使いこなそう」をテーマに実習を交えて行いました。

## 本社グラウンドで武蔵野市総合防災訓練を実施



2006年8月27日、武蔵野市民を対象とする「武蔵野市総合防災訓練」が武蔵野市主催で実施され、横河電機はグラウンド、本社前の広場を訓練会場として提供しました。今回は「東京を大地震が襲い、ビルが倒壊、多数のけが人が出ている」という想定で行われました。横河電機からも自衛消防隊員が訓練に参加、倒壊建築物からのけが人救出や、初期消火の実演を行いました。

## 周辺地域の清掃活動に参加



武蔵野市の恒例行事となった「ごみゼロデー」の清掃ボランティアに参加しました。YOKOGAWA社員をはじめとするOBやその家族が参加し、三鷹駅北口から会社周辺の清掃を行いました。また、路上禁煙、喫煙マナー向上を目的として開催されている「オール東京秋季喫煙マナーアップキャンペーン」にも参加しました。

## 地域社会の中での企業のあり方を 真摯に追求し、連携していく

### 「バスケットさわやか広場」への参加



2006年10月22日、武蔵野市の特別養護老人ホーム「武蔵野館」で行われたボランティア活動「バスケットさわやか広場」にYOKOGAWAの同好会バスケットボール部が参加しました。当日は地元武蔵野市のチーム「武蔵野ミニバスケットボールクラブ」の小学生25名も参加。入居者が参加するミニフリースロー大会も行われました。

### 小峰工場での独自清掃活動



横河マニュファクチャリング小峰工場では2006年10月23日～26日の4日間、工場周辺の清掃を実施しました。今回は新たに、秋川街道の歩道が清掃範囲に追加されました。清掃の結果、4日間で、45リットルの袋に6袋のゴミを回収。前回の活動より回収量が減り、日頃の環境活動の関心の高さがゴミの減少につながっています。

### アメリカで「マーチ・オブ・ダイムス」への参加



Yokogawa Corporation of Americaでは、全米でのチャリティイベントである「マーチ・オブ・ダイムス」の「ワーク・アメリカ」などに、アトランタの社員が参加しました。このイベントは、新生児障害の防止などを支援するもので、2006年度は社員の家庭の自慢料理を集めて、レシピ本を作成。これを販売し、家族や友人から寄付を募りました。

### 韓国で老人センターへの奉仕活動



韓国の拠点Yokogawa Electronics Manufacturing Korea Co.,Ltd. は「社会と人類への貢献」というビジョンを掲げ、毎年、社員が自主的に参加する奉仕行事を実施しています。2006年11月18日には39人の社員が老人センターを訪問しておかず作りと清掃活動を行い、皆さんに喜んでいただきました。

### 「キックベースボール大会」で障害者同士の交流



武蔵野市近辺の特例子会社（障害者の就労機会拡大を目的として、障害者雇用推進法に従って設立される子会社）に呼びかけ、2006年10月21日「各社対抗キックベースボール大会」を横河電機本社グラウンドで開催しました。参加したのは横河ファウンドリー（株）を含む計5チーム、総勢60名。試合後には参加者同士で交流する姿が見られました。

### 金沢事業所での地域交流



横河電機金沢事業所では2007年2月23日に石川県立羽咋工業高等学校電気科の生徒約40名へ工場見学会を行いました。専門教育の一環として、学校からの依頼に対し実現したもので、技術開発の現状説明や脳磁計などの展示物を紹介しました。生徒の皆さんは、珍しい機器や建物のセキュリティなどに関心を持たれていました。

### 中国YOKOGAWAの社会貢献活動



中国の社会貢献活動のひとつとして、就学困難である地域（青海省・陝西省・重慶市・江蘇省）の児童への学費支援活動を2006年度も継続して行いました。また、青海省共和県にある小学校を訪問し、現地の子供たちとの交流を行いました。文房具などの支援に加え、鉄棒や卓球セットなどの遊具を贈呈しました。

### 中国での植林への取り組み



蘇州横河電表有限公司では、2006年も蘇州市が定める「植樹デー」に参加し、社員や家族約60名が、クスやツゲなど300本を植樹しました。参加者は植樹を行ったあと、周辺のゴミ清掃に参加。また、重慶横河川儀有限公司では、社員の参加者約20名が重慶市の農村モデル地区に約100本の竹を植樹しました。